



いまさら人に聞けない!? 外来種問題のキホン

◆外来種って？

最近「外来種」という言葉がよく聞かれるようになりました。

「外来種」とは、もともとその地域にいなかったのに、人間の活動によって他の地域から入ってきた生き物のことをいいます。多くの場合、持ち込まれた生き物はその地域で生き残れません。しかし、うまく適応して野生化すると、生態系にさまざまな影響を及ぼすことがあります。園内で見られる生き物を中心に、その事例を紹介します。



◆外来種が侵入すると、どんな影響があるの？

【捕食】もともといた生き物(在来種)を食べつくしてしまう



水草を切断したり、魚や水生昆虫などを幅広く食べる**アメリカザリガニ**。**モリアオガエル**のオタマジャクシは、外来種である**アメリカザリガニ**を天敵だと認識できず、防御行動をとらないことが分かっています。

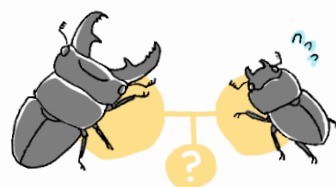
【競争】似た生活を送っている在来種のえさや住みかを奪ってしまう



後ろばねの赤い**アカハネオンバツ**が急速に分布を広げています。同じ環境に住む**オンバツ**への繁殖干渉(メスの背中にオスが乗るが、卵は産まれない)により、在来種は交尾が妨害され、数を減らしてしまう可能性があります。

※赤字—外来種 青字—在来種

【遺伝的かく乱】在来種との交雑で、固有の遺伝子が失われる



お店で売られている**外国のヒラタクワガタ**と、日本の**ヒラタクワガタ**は交雑ができ、子孫も残せることが分かりました。もしペットが逃げ出して野外で交雑すると、日本固有のクワガタの遺伝子や、進化の歴史が失われてしまうかも…

◆国内でも問題になる

日本国内の他の地域から、もともといなかった地域に持ち込まれた場合「国内外来種」と呼ばれます。

かつて、イベントのためや、昔の自然を復活させるためという名目で、他の地域から**魚やホタル**などを持ち込んで川へ放流することが問題になりました。良かれと思ってしたことが、地域の生き物を脅かしてしまう結果になることも…

◆外来種は悪者？

外来種が生態系に及ぼす影響は、まだまだ分かっていないことばかり。単に外来種を駆除すれば問題解決というわけにはいきません。外来種を持ち込むのも人間、はびこらせる環境を作っているのも人間ですから、みんな考えていきたい問題です。



生き物を観察したら元の場所に戻そう



ペットは最後まで責任もって飼おう

◆万博記念公園の取り組み

万博終了後の1970年代当初、自然に配慮した公園計画は先進的なものでした。新しく木や土が必要なときは、郷土種(その土地にもともと生えていた種)を選んだり、同じ千里丘陵から採取してきたものを使っています。今見られる森はこれまでの努力のたまものなのです。

【今月の行事】 毎日開催!

- アメリカザリガニ 10日(土) 竹の水鉄砲を作って遊ぼう
- つり体験 11日(日) 夏の昆虫観察会
- 24日(土) 木や竹・木の実を使った工作



自然観察学習館

〒565-0826 大阪府吹田市千里万博公園 1-1

TEL: 06-6877-6923

✉ アドレス: expo70gakusyu@cronos.ocn.ne.jp